

課程 全日制

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	学年	1	科	全学科
使用教科書		My Way English Communication I（三省堂）							
補助教材等		My Way English Communication I Workbook Standard（三省堂） データベース 3300 基本英単語・熟語 Workbook A・B（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Pre Listening Box（啓林館）							

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 外国語の学習を通して、社会や世界に目を向け、他者や他文化への理解を深めるための大切な授業です。授業の中での言語活動に積極的に取り組み、音声や文字を的確に捉え、自身の言葉としてそれを定着させることを目標に授業に取り組んでください。
- 授業で扱う教材の理解を深めるため、意味の分からない後は辞書等で調べましょう。まとまった文章の概要を捉えるため、内容理解等に関する設問や教材も使用します。語彙を増やすために単語帳を使用し、書き取りドリル等の宿題を課すこともあります。言語の習得には反復練習が効果的です。粘り強く復習を行い、課題は必ず提出して下さい。成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課します。
- 授業では「読む」「書く」「聞く」「話す」活動を行います。間違いを恐れず積極的に英語を声に出したり書いたりして自分の言いたいことを伝え、友達や教材から伝えられることを理解しようとする姿勢を養いましょう。
- 英語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。また、限られた授業時間の中だけで英語を身に着けることは簡単ではありません。毎日少しでも意識的に英語に触れ、英語の音や文字に慣れ親しむ習慣をつけて下さい。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおい</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 知識や技能を習得するために課題等に取り組み、定着を図

	て、目的や場面、状況などに 応じて適切に活用できる技 能を身につけている。	用して適切に表現したり伝 え合ったりしている。	ろうとしている。
主な評価 方法	・定期テスト（知識の習得 を問う問題及び知識の概念 的理解を問う問題）の結果	・定期テストの応用問題 の結果 ・英作文や発表などの内 容及び到達度	・日常的な授業の取り組みや 発言、ペアワークやグループ ワークへの取り組み ・行動観察 ・提出課題の取り組み状況

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

学 期	月	単 元	教 材	時 数	学 習 内 容	評 価 規 準	
一 学 期	4	世界の様々 な文化(こと わざ)につい て学ぶ	Lesson1 Proverbs Around the World	30	動詞の現在形・過去形・ 現在進行形/SVO	各単元に出てくる単語や 熟語、言語表現が理解で きたり、書くことができ る。また、単元の内容を 的確に捉えている。(a)	
	5	動物を通し て生き方や 考え方につ いて学ぶ	Lesson2 Iwago Mitsuaki - An Animal Photographer		助動詞/受け身/助動 詞のついた受け身	それぞれの単元の文法事 項が理解できて定着して いる。(a)	
	6	高校生の挑 戦について 知り、経緯を 学ぶ	Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space ※通年で教科 書の文法事項 に該当する項 目を Learners' English Grammar で より詳しく学 ぶ ※単語帳 Database330 0を用いて語		動名詞/to 不定詞の名詞 的用法・副詞的用法・形容 詞的用法	関連したテーマについて 作文したり、応用的な内 容の物を理解できる (b)	
							授業に積極的に取り組 み、扱ったプリントや課 題を提出している。(c)

			彙を広げる			
二 学 期	7	「クマのプーさん」に込められたメッセージを知る	Lesson4 Messengers from <i>Winnie-the-Pooh</i>	45	現在完了形／現在完了進行形／過去完了形  関係代名詞（主格）／関係代名詞（目的格）／関係代名詞 what  It is … to 不定詞  現在分詞の形容詞的用法／過去分詞の形容詞的用法／  分詞構文／It is … that ~  関係副詞 where／関係副詞 when／関係副詞 why／  比較級・最上級	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a)  関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	8		Lesson5 Endangered Languages			
	9	消滅の危機にある言語について学ぶ	Lesson 6 A Wheelchair Traveler			
	10	三代達也さんの世界旅行の経験を知る	Lesson 7 The Fugees			
	11	難民の子供たちの現状を知る				
三 学 期	12	技術開発について考える	Pre Listening Box を週1回のペースで開始	30	条件を表す if 節／仮定法過去／I wish ~／as if ~  SV0;O <sub>2</sub> (O <sub>2</sub> =how to ~) / SV0+to 不定詞 / SVOC (C=動詞の原形) / SVOC (C=現在分詞)	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a)  関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	1		Lesson 8 Avatar			
	2	作品と想像力の関係について学ぶ	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination			
	3	SDGs に関する様々なテーマのプレゼンテーションを読み、考える	Lesson 10 SDGs — Sustainable Development Goals			

合計 105時間

課程 全日制

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3	学年	2	科	全学科
使用教科書		My Way English CommunicationⅡ（三省堂）							
補助教材等		My Way English CommunicationⅡ Workbook Standard（三省堂） データベース 3300 基本英単語・熟語 Workbook B・C（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Listening Box 1（啓林館）							

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 外国語の学習を通して、社会や世界に目を向け、他者や他文化への理解を深めるための大切な授業です。授業中での言語活動に積極的に取り組み、音声や文字を的確に捉え、自身の言葉としてそれを定着させることを目標に授業に取り組んでください。
- 授業で扱う教材の理解を深めるため、意味の分からない語は辞書等で調べましょう。まとまった文章の概要を捉えるため、内容理解等に関する設問や教材も使用します。語彙を増やすために単語帳を使用し、書き取りドリル等の宿題を課すこともあります。言語の習得には反復練習が効果的です。粘り強く復習を行い、課題は必ず提出すること。成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課します。
- 授業では「読む」「書く」「聞く」「話す」活動を行います。間違いを恐れず積極的に英語を声に出したり書いたりして自分の言いたいことを伝え、友達や教材から伝えられることを理解しようとする姿勢を養いましょう。
- 英語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。また、限られた授業時間の中だけで英語を身に着けることは簡単ではありません。毎日少しでも意識的に英語に触れ、英語の音や文字に慣れ親しむ習慣をつけて下さい。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>・知識や技能を習得するため</li> </ul>

	と、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	に課題等に取り組み、定着を図ろうとしている。
主な評価方法	・定期テスト（知識の習得を問う問題及び知識の概念的理解を問う問題）の結果	・定期テストの応用問題の結果 ・英作文や発表などの内容及び到達度	・日常的な授業の取り組みや発言、ペアワークやグループワークへの取り組み ・行動観察 ・提出課題の取り組み状況

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

学期	月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
一学期	4	世界の様々な文化について学ぶ	Lesson1 Dances Around the World	30	SV0(0=that / what / if / whether 節) SV0 <sub>1</sub> 0 <sub>2</sub> (0 <sub>2</sub> = if / that / what 節)	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a) 関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の文を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	5	桂三輝さんの英語落語についてのインタビューを読む	Lesson2 Katsura Sunshine		形式主語の it 形式目的語の it	
	6		通年で ※教科書の文法事項に該当する項目を Learners' English Grammar でより詳しく学ぶ ※単語帳 Database3300を用いて語彙を広げる ※Listening Boxを用いて必要な情報を		海外からの旅行者や友人に紹介する日本文化について話す	

			聞きとる力を伸ばす			
二 学 期	7	野生動物保護活動について考える	Lesson 3	45	現在完了形	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a)
	8		Living with Nature		現在完了進行形	
	9				過去完了形	
	10	セサミストリートに込められたメッセージについて考える	Lesson 4		過去完了進行形	
11		Sesame Street		SVOC (V=知覚動詞 C=動詞原型) SVOC (V=知覚動詞 C=過去分詞) SVOC (V=使役動詞 have, make C=過去分詞) help+0+動詞の原形	関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の文を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)	
三 学 期	12	海外での活動・ビジネスについて知る	Lesson 5	30	関係代名詞 (主格)	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a)
	1		From Landmines to Herb		前置詞+関係代名詞	
	2				関係代名詞の非制限用法	
3				関係副詞の非制限用法	それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a)	
					参加してみたい国際ボランティア活動について話す	関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の文を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)

合計 105時間

課程 全日制

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学年	3	科	全学科
使用教科書		Vivid English Communication II NEW EDITION（第一学習社）							
補助教材等		My Way English Communication II Workbook Standard（三省堂） データベース 3000 基礎英単語・熟語 Workbook C（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版）							

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○ 外国語の学習を通して、社会や世界に目を向け、他者や他文化への理解を深めるための大切な授業です。授業の中での言語活動に積極的に取り組み、音声や文字を的確に捉え、自身の言葉としてそれを定着させることを目標に授業に取り組んでください。

○ 授業で扱う教材の理解を深めるため、意味の分からない語は辞書等で調べましょう。まとまった文章の概要を捉えるため、内容理解等に関する設問や教材も使用します。語彙を増やすために単語帳を使用し、書き取りドリル等の宿題を課すこともあります。言語の習得には反復練習が効果的です。粘り強く復習を行い、課題は必ず提出すること。成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課します。

○ 授業では「読む」「書く」「聞く」「話す」活動を行います。間違いを恐れず積極的に英語を声に出したり書いたりして自分の言いたいことを伝え、友達や教材から伝えられることを理解しようとする姿勢を養いましょう。

○ 英語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。また、限られた授業時間の中だけで英語を身に着けることは簡単ではありません。授業以外でも毎日少しでも意識的に英語に触れ、英語の音や文字に慣れ親しむ習慣をつけて下さい。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>知識や技能を習得するために課題等に取り組む、定</li> </ul>

	実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	伝え合ったりしている。	着を図ろうとしている。
主な評価方法	・定期テスト（知識の習得を問う問題及び知識の概念的理解を問う問題）の結果	・定期テストの応用問題の結果 ・英作文や発表などの内容及び到達度	・日常的な授業の取り組みや発言、ペアワークやグループワークへの取り組み ・行動観察 ・提出課題の取り組み状況

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

学期	月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
一学期	4	世界の壁画プロジェクトについて学ぶ	Lesson6 Murals—The Power of Public Art	30	助動詞/助動詞の過去形 助動詞+have+過去分詞 完了不定詞	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a) 関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	5		Lesson7 “Englishes” in the World		分詞構文/受け身の分詞構文/ 完了形の分詞構文	
	6	世界の様々な英語について学ぶ	通年で ※教科書の文法事項に該当する項目を Learners’ English Grammar でより詳しく学ぶ ※単語帳 Database3000を用いて語彙を広げる		付帯状況 with	

二 学 期	7	科学者が取 り組む世界	Lesson 8 Deepika	45	仮定法過去/仮定法過去完了	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a)	
	8	の水問題に ついて考え る	Kurup		if を使わない仮定法 no matter + 疑問詞		それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a)
	9				特別授業に招きたい発明家や起業家について話す		
	10		Lesson9				関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる
	11	ホセ・ムヒカ さんが考える本当の幸せとは	The World' s Poorest President		同格の that 節/強調構文/ 倒置・省略		(b)  授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
三 学 期	12	e スポーツ や電子書籍 の長所と短 所	Lesson 10 Living in an E-socierty Landmines to Herb	30	議論された発言の要旨・根拠や具体例を的確に理解する	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。(a)	
	1				議論の場面でよく使う表現を身につける		それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a)
	2						関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる
	3				(b)  授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)		

合計 70時間